



## 【先週のメッセージより】 イザヤ65章

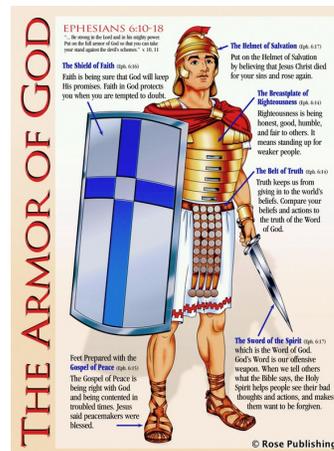
## 「天の故郷ってどんなところ？」

私も行った事がないので、できることは旅行ガイドのどこにどんなことが書いてある、ってことを紹介すること。もちろんそれは聖書だが、共にガイドをながめ、期待に胸を膨らませていきたい！

● **少なくとも二段階で来る天国** 聖書の靈感を信じ、字義通りの解釈に立った場合、1) この地上の延長線上の回復の時期／次の時代、安息の時、千年王国等で呼ばれる時代と、2) この地上、今の宇宙のすべて過ぎ去って、神がすべてを新しくする新天・新地の時代、の、少なくとも二つの段階で天国はやって来る。今日の話は(1)について。

● **イザヤ書65章が描く千年王国 17節**「先の事は思い出されない」とは、神抜きに地球を治めようとした人間が滅茶苦茶にしてしまった世界の様々な苦悩や苦難、悲しみ等をもはや思い出さない！という意味。**18節**「神が創造したものをいついつまでも楽しめ！」という命令もすばらしい。人間はいままでも神の創造したものからいつもインスピレーションを受けてきた(鳥を見て飛びたい！魚を見て、海の底が見たい！)。新しい時代にそのことが思う存分できるようになる。**19-20節**「もう数日しか生きない乳飲み子も、寿命の満ちない老人もない」とは、新しい体をいただき、健康が祝されるということ。**21節**「彼らは家を建てて、ぶどう畑を作って・・・自分の手で作った物を存分に用いることができる」、ということは、来るべき時代にも、仕事がある、ということ。仕事は本来、神が喜びのために私たちに与えてくださったものなのである。**24節**「彼らが呼ばないうちにわたしは答え」とは神がいつも共におられる場所という意味。**25節**「狼が小羊と」とは来るべき時代に動物たちもおり、動物の世界にも新しい平和の秩序が来る！

● **誰が天国に入れるのか？** 天国は神と共に永遠に過ごしたい人がいく所である。神や他人を本当に喜べる人は、健全な意味で自分に死んでいる人。自分に死ぬことの第一歩はイエスの十字架から始まる。■



## 【 武具の祈り 】

● 主よ、おはようございます。今日一日の霊的な戦いに備え、今朝も、あなたが備えてくださった武具を身に着けます。あなたにとって役立つ兵士として、信仰の戦いを勇敢に戦わせてください。

● 先ず、腰に真理の帯を締めます。あなたについての真理に始まり、悪魔の策略や私自身の罪についての真理でさえ、真理はいつでも

私を自由にします。私は真理を愛し、追い求めます。今朝も熱心なみことばの真理を心に刻みます。

● 次に胸には正義の胸当てを着けます。あなたは正義を愛され、不義を嫌われます。私は今なお、どちらか選ぶ自由がありますが、私は、自分の手足を不義の器でなく、義の器としてあなたにささげます。聖霊によって私の心をお守りください。正義を愛します。

● 私は足に平和の福音の備えを履きます。この足で、福音を必要としている人の所へ向かわせてください。何時でも私に与えられている希望について、説明を求める人に証しをし、神への道を伝えることができるように助けてください。

● これらの上に信仰の大盾を取ります。私は霊的な戦いの中にこれから出て行きます。サタンは誘惑や攻撃の火矢を私に放って来ますが、私は自分の肉の力で対抗するならば破れます。しかし、私が御前にへりくだり、あなたに信頼するなら、私は必ず勝利できますから感謝します。

● 救いの兜をかぶります。サタンは私の思いに攻撃を仕掛け、疑いと失望の剣で切り掛かって来ますが、私は救いの福音の確かさをしっかり覚え、主の復活と再臨の希望を告白し、疑念を払いのけます。

● 最後に御霊が与えてくださる剣であるあなたの言葉を手にとります。あなたの言葉は生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、人の心のいろいろな考えや、はかりごとを判別することができ、更に人の魂を救うことができます。

● 武具の一つ一つを感謝し、主よ、私は一日に踏み出します。■